

# 生物科学科におけるキャリア教育の取り組みについて

## 1 花巻小学校との交流学习

### (1) 目的

花巻小学校2年生を対象として、園芸専攻の生徒が野菜先生として野菜の作り方を教えると共に、農業高校の理解を深める活動をする。

また、小学生との交流をとおして児童に対する接し方を学習し、幼児教育などの職業観の育成を図る。

### (2) 対象者および実施科目

生物科学科2年 園芸専攻生徒3名 課題研究  
花巻小学校2年生 49名 総合的な学習の時間

### (3) 実践例

企画運営は花巻小学校で行っており、年4回の交流事業を実施している。



5月13日(金) 11:00~12:50

花巻小学校にて  
ジャガイモ・サツマイモの植え付け指導

7月1日(金) 11:00~12:50

花巻小学校にて  
ジャガイモ・サツマイモの管理指導



9月30日(金) 11:30~14:00

花巻農業高校にて農場見学

1グループ小学生4~5人で12グループを  
生産部門生徒16人で対応

農場案内や一緒にお弁当を食べたり  
交流を深めました。



12月2日(金)11:00~13:10花巻小学校にて収穫祭

子ども達と一緒にゲームをして交流を深めました。

その後、子ども達からお礼の手紙をいただきました。

今年収穫したジャガイモやサツマイモを使った料理の給食を一緒に食べて、  
楽しい時間を過ごしました。

(4) 参加した生徒の感想

- ・初めての経験だったのでどう対応したらよいか最初は不安だった。
- ・子ども達との交流を通して、教えることの難しさが分かった。
- ・最後に子ども達からお礼の手紙をいただきとても感動した。

2 インターンシップの取り組み

(1) 目的

地域の事業所の協力を得て、生徒個々の希望する企業に体験就業することで職業観の育成を図る。

(2) 対象者および実施科目

生物科学科2年生 41名 総合実習

(3) 実践例

- ・毎年夏期休業中に2日間の日程でインターンシップを実施している。
- ・主な事業所の依頼先は  
園芸農家・酪農家・食品販売・温泉・産直等の約35事業所
- ・科職員が分担して、事前に依頼先の事業所に挨拶に行き打合せを行い、実施期間中に巡回指導を行っている。

(4) 評価

実習のレポート提出並びに事業主の評価を総合実習の評価の一部としている。



馬の里(遠野)



実習風景

動物病院

(5) 課題

- ・7月上旬までに1クラス41名の受け入れ先を決定するのに苦労した。
- ・インターンシップを実施することにより、進路決定にどれだけ生かしているのかの客観的判断が難しく、実施した効果がわかりにくい。

3 羅須プラザ・空港羅須プラザの取り組み

(1) 目的

本校の農場生産物を定期的に地域で販売し、本校に対する理解を地域の人々に深めてもらうと共に、販売に係わるマナー・礼儀・対応について体験を通して職業観の育成を図る。

(2) 対象者および実施科目

生物科学科・食農科学科の2学科と購販売委員の持ち回りで対応。  
2学科は該当時間の授業内販売で、委員会は公欠で対応。

(3) 実施時期および実施回数

- ・羅須プラザ 5月上旬から11月下旬の間に18回実施。  
(毎週金曜日の11:30~12:30 但し長期休業中は除く)
- ・空港羅須プラザ 11月上旬から12月中旬の間に6回実施。  
(毎週木曜日の13:30~15:00 )

#### (4) 販売品目

時期に収穫できる農産物および加工食品  
(ジャム・味噌・乳酸飲料・リンゴ・花苗・鉢花他)



花巻空港駅前通りで実施している羅須プラザ販売風景



花巻空港ロビーで実施している空港羅須プラザ販売風景

#### (5) 課題

- ・羅須プラザの販売品目の農産物の継続的な供給確保。
- ・持ち回りで販売しているので、対応がきちない。(おつりの計算の遅さ)

#### 4 その他の取り組み

- (1) 草花販売実習(花巻市内)  
シクラメンの販売実習を生物科学科2年生および3年生の草花専攻生で実施。
- (2) 現場見学  
11月18日(金) 実施 生物科学科2年生41名  
見学先 東北農業研究センター、小岩井乳業、バイオマスしずくいし
- (3) 社会人招聘事業  
生物科学科1・2年生対象
- (4) 学校農場の幼稚園、小学校の遠足の受け入れ

#### 5 まとめ

生物科学科では毎年、職業観を育む行事を取り入れている。これらの行事を体験することにより3年次の進路決定に何らかの参考になれば良いと考えている。しかし、昨今の就職状況を考えると自分の希望する職業に採用される生徒が果たして何名いるのだろうか。進路決定をきるだけ早くし、それに向けて努力する姿勢を養う指導をすることは大切である。しかし具体的な進路を見つけることのできない生徒が多数いるのが現状である。限られた求人票の中から自分に適する仕事は何かを客観的に判断できる能力をどのように養えばよいのか、またその指導をどのように行えばよいのか課題である。